

令和 2 年度

学校自己評価表（報告）

学校運営計画					
学校運営方針	専門高校としての特色ある教育活動を展開し、『農業』『環境』『食品』の関連分野を担う将来のスペシャリストとして必要な基礎・基本を身につけ、生徒一人一人の進路希望の実現を目指す。				
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標			
【成 果】 ・進路希望の達成 ・基礎学力の向上 ・実習等の安全確保 ・充実したキャリア教育の充実 ・地域連携活動 【課 題】 ・普通教育を通した確かな学力の定着 ・教科横断学習 ・早期の進路意識向上 ・人間力、コミュニケーション力の育成 ・地域の将来を担う人材の輩出	普通教育を通した確かな学力を身につけ、農業のスペシャリストとして必要な専門性の基礎・基本の習得を目指す。	授業の質的向上と「わかる授業」の実践による基礎学力の定着 しっかりとした基礎・基本の上に立った専門教育の充実 清潔で安全・安心に配慮した学習環境と、使いやすい情報環境の充実			
	三年間を見通したキャリア教育を推進し、生徒一人一人の進路希望の実現を目指す。	生徒の進路実現に向けた学校全体としての組織的な支援体制の確立 進路実現のための面談・個別指導の充実			
	生命を尊重し、一人一人が自他を認め、人間関係を大切にできる人材を育成する。	命を見つめて、命に学ぶ教育の実践 充実した生徒指導による規範意識の醸成			
	地域社会や関係機関と連携を深め、地域産業の発展に貢献できる人材を育成する。	保護者・地域との連携強化 農業教育を通しての積極的な地域・団体との連携。 農業教育を通しての地域への参画意識の醸成			
	勤務時間や働き方を適切に管理する。	学校閉庁日や定時退校日、土日の登庁禁止を適切に実行する			
重点目標	具体的目標	具体的方策		評価	
普通教育を通した確かな学力を身につけ、農業のスペシャリストとして必要な専門性の基礎・基本の習得を目指す。	授業の質的向上と「わかる授業」の実践による基礎学力の定着。 しっかりとした基礎・基本の上に立った専門教育の充実。 (教務) (学年)	綿密な教材研究を実施し、授業内容の充実をはかる。(教務)	B	A	
		家庭学習の定着のための指導をする。(教務)	B		
		情報リテラシーと情報モラルの向上に努め、情報機器を活用した授業を支援する。(教務)	A		
		生徒が充実した学校生活がおくれるように、時間割作成、考査や集会・式典等の行事予定を作成し、円滑化に努め、学校運営の手助けをする。(教務)	A		
		学習方法の指導、適度な課題、基礎力診断テスト等を通して、自ら学ぶ姿勢を育てる。(1 学年)	A		
		朝読書や基礎力診断テスト等を行い、自ら学習しようとする習慣の定着や基礎学力の向上を促す。(2 学年)	A		
		諸活動を通して、進路実現に必要な思考力や自己表現力を磨く。(3 学年)	A		
	清潔で安全・安心に配慮した学習環境と、使いやすい情報環境の充実。	授業に対する取り組み方や学習環境の整備改善をはかる。(教務)	B		B
		情報機器の保管及び管理、校内 LAN の運用・管理を行い、円滑な教育活動を支援する。(教務)	A		
		生徒・職員にとってよりよい教育環境の充実をはかる。(教務)	B		
		図書館オリエンテーションを実施して、図書館の適切な利用について指導する。(図書視聴覚)	C		
		図書館だよりを年 2 回発行する。また、新着案内を定期的に発行する。(図書視聴覚)	B		
		一斉読書を実施し、読書に親しむ機会を増やす。(図書視聴覚)	B		
		蔵書充実のため、希望調査等を実施して、図書資料の廃棄と更新を進める。(図書視聴覚)	C		
(教務) (図書視聴覚) (保健防災)	学校行事の放送などを円滑に行えるよう、機器の準備・調整をする。(図書視聴覚)	A	A		
	校舎内大清掃を 6 回、校舎外大清掃を 1 回実施する。また地域の環境美化を推進しボランティアの精神を養う。(保健防災)	A			
三年間を見通したキャリア教育	生徒の進路実現に向けた学校全体としての組織的な支援体制の確立。	生徒の進路実現を踏まえた教育課程の検討をする。(教務)	A		
		資格取得に向けた取り組みの充実をはかる。(教務)	A		

人を進路希望の実現を目指す。	進路実現のための面談・個別指導の充実。 (教務) (進路) (学年)	各学年の進路目標に応じた進路行事等の開催と充実をはかる。(進路)	A	A
		キャリア教育の視点に立った進路指導計画(概要)の作成と理解を促す。(進路)	A	
		基礎的・基本的な学力の定着と、書く力(作文・小論文等)及び話す力(面接等)の涵養をはかるべく手立てを講じる。(進路)	A	
		生徒の進路指導室および進路資料室の利用・活用を促進する。(進路)	A	
		保護者に対し進路に関する情報提供(進路通信の発行等)を行い、進路行事等への参加を促す。(進路)	B	
		講演会、校外学習、職業調べ、職業適性検査等を通して、自分の能力・適性の理解を促進する。(1学年)	A	
		企業・農業・上級学校研修を通して、進路意識の高揚と人間力を育む。(2学年)	A	
		進路目標に適した課題解決学習を行い、学習内容の発表をする。(3学年)	B	
生命を尊重し、一人一人が自己を認め、人間関係を大切にできる人材を育成	命を見つめて、命に学ぶ教育の実践。 充実した生徒指導による規範意識の醸成。 (生徒指導) (学年)	問題行動を起こした生徒に対して、保護者と連携して組織的・継続的な指導を行う。また、いじめに関しては、早期に気づけるよう生徒の言動を注視する。(生徒指導)	A	A
		朝の登校指導や挨拶運動を実施し、日常からの生徒指導と挨拶の励行を指導する。(生徒指導)	A	
		服装の基準を示し、高校生としてふさわしい身だしなみを理解させる。(生徒指導)	B	
		保健指導と健康相談を適宜行う。また「保健だより」等を年6回発行する。(保健防災)	B	
		避難訓練及び救急法講習会(職員対象)を実施し事故や災害時における応急対応や救護の知識と技術を体得させる。(保健防災)	A	
		コミュニケーション活動や協働活動を通して他者の価値観や気持ちを理解する力を育むとともに、身だしなみ・挨拶・時間厳守などの自己コントロールを常に意識させる。(1学年)	B	
		修学旅行を通して平和学習で命の大切さ等を学び、集団活動や民泊を通しコミュニケーション力を育む。(2学年)	B	
		コミュニケーション活動や協働活動を通して、他者の価値観や気持ちを理解して行動する力を育む。(3学年)	A	
地域社会や関係機関と連携を深め、地域貢献ができる	保護者・地域との連携強化を図る。 農業教育を通しての積極的な地域・団体との連携 農業教育を通しての地 (渉外) (洪志会(生徒会)) (学年)	PTA総会及び各PTAの委員会を保護者と協力・運営し、参加・活動を促す。(渉外)	B	A
		PTA広報誌「大河信濃」を年2回発行、学校カレンダーを作成し年度当初に配付する。(渉外)	A	
		PTA研修会を検討・開催し、本校の教育活動への理解を深め、親睦をはかる。(渉外)	A	
		生徒の自主性と自己肯定感向上を重視し、生徒会活動や行事を推進する。(洪志会(生徒会))	A	
		主体的に、環境や福祉などのボランティア活動を充実させる。(洪志会(生徒会))	A	
		部・同好会活動を通じて社会に通用する人格形成を図り、大会や発表会で成果をあげる。(洪志会(生徒会))	A	
		農業クラブへの興味・関心をさらに高める。授業との連携をさらに強くし、活動の成果をあげる。(洪志会(生徒会))	B	
		各種行事や農業体験を通して保護者・地域との交流を図るとともに、保護者と地域から認められる行動規範や教養を身につけさせる。(1学年)	B	
各種行事や農業体験を通し保護者と地域から認められる行動規範や教養を身につけさせる。(2学年)	B			
各種行事や農業体験を通し、率先して保護者と地域から認められる行動規範や教養を身につけさせる。(3学年)	A			
成果	新型コロナウイルス感染症により、新学期から例年通りのスタートができず、各部署で大変苦労した。特に、進路関係では、担任と進路指導部、各分掌が連携して限られた時間の中例年以上にきめ細かく、効率的な指導を行ったことにより、生徒の一人一人の進路実現が達成できた。また、2学年ではインターンシップ(就業体験)を実施することができず、充実したキャリア教育・実学を推進することができなかったことはとても残念であった。PTA活動においても、研修会を行うことができなかったが、来年度はPTA役員との連携を深め、保護者の各種行事への参加率が向上するよう努めていきたい。	総合評価 A		